



社会への携わり方

1年次代表 柿本 知郁

「産業社会と人間」の授業では、自らの夢を持つことの大切さを学んだ。まずは職業や学問分野を調べ、職業人インタビューでは、自分でアポを取るが大変だった。また、実際に働いている人からお話を聞き、社会人として職業人として大切なこと、今の私たちがすべきことを知ることができた。この準備などは大変だったが、社会に出た時に必要な力になるので、とても大切だと感じた。

発表では、自分の夢の紹介や中学生・高校生のあいだにしておくべきだと感じたこと、「中学校教諭」のやりがいや、その大切さなどを知ってもらいたい。

リハビリで心身共に支え寄り添う

1年次代表 石丸 美海

私は作業療法の仕事を知るために県立中央病院でお話を伺うことが出来ました。作業療法士という仕事はあまり聞かないかと思いますが、少しでも作業療法について知ってもらえればと思います。仕事内容や似ている仕事ですが、実は大きな違いのある理学療法との比較、そして、この仕事に就くために必要なことを中心に発表をしていくつもりです。また、実際にリハビリしているところの見学もさせて頂いたのでそのときの様子もしっかりとお伝えします。

これらの取り組みは、特に自分の夢、未来と向き合うきっかけになりました。来年には、今年よりも夢に近づけるように努力を惜しまずに頑張っていきたいと思っています。

「食」の作り手になりたい

1年次代表 木内 天音

「産業社会と人間」の授業では適性診断や職業人講話で、実際に働いている人から、生の声を聞くことができました。また、上級学校見学では、中央大学や大原学園に行き、レベルの高い雰囲気を実際に感じる事ができ、貴重な体験ができました。

私は食品添加物がたくさん入ったお菓子を、なるべく食べないようにしていました。そして次第に「自分で作れば、甘さも調節できて、添加物も入っていないものができるんじゃないか」と思い、お菓子作りや料理に興味を持ち始め、パティシエールを目指すようになりました。

女性ならではの苦労も聞きたいと思い、職業人インタビューでは、女性オーナーシェフがいるラ・ポルトドールさんでインタビューさせていただきました。これから高校生活ではインタビューを通して、知ったこと、学んだことを生かしていきたいです。そして、家族や友人、周りの人に感謝して、自分の夢に向かっていきたいです。

介護福祉士になるために

2年次代表 山本 楓華・幡野 葉月・一瀬 万那佳

発表内容はオープンキャンパスや夏休みに行ったインターンシップや介護福祉士体験です。

私たちはこの1年間介護福祉士に向けて学校での授業や行事を通して色々なことを勉強してきました。授業ではライフサイエンスなどのより専門的な授業も始まり将来の進路実現に向けて一歩ずつ前進していると思います。また、1年間様々な学校生活や行事を通して、いろいろな視点から介護について考えました。その中でも介護施設での体験や施設の先輩方よりのお話、施設利用者の方々とのふれあいを通して、介護福祉士への志望がますます強くなりました。

しかし、今の私たちは知識、技術も経験もまったく無い状態ですので、これからたくさんの事を学び身につけていかなければならないことも感じました。この1年間に学んだことをしっかり反省し残りの1年もより多くのことを学び、将来の夢実現のためにに向けて努力していきたいと思えます。

今までのこと、これからのこと

3年次代表 五島 一嘉

私は、この3年間たくさんの成功を経験し、そしてその倍以上の失敗をしてきました。それら全てが、今の私を形づくる糧になっていると思います。卒業後は、日本大学芸術学部で演劇をより深く学んでいきます。今回の発表では、これから進路を決めていく後輩たちや中学生に、ほんの一例として、私の成長と進路実現の過程を提示したいと思っています。たくさん迷惑をおかけした先生方や同級生、後輩たちへの感謝が伝われば良いと思います。せっかくいただいた発表の機会、自分なりに精一杯発表させていただきます。

私の3年間

3年次代表 高橋 倫

私は、この3年間で勉強、部活動、高大連携講座という3つの事柄に取り組んできました。その中で特に飛び抜けた才能があったわけではありませんでした。担任の先生から紹介された大学に興味を持ち、3つの中の「高大連携講座」を使い、推薦入試を受けることにしました。しかし、高大連携講座の中では中心的な存在ではなかったので、準備にとても苦労しましたが、最後までやり抜くことができたのは良かったです。進学後は、勉強をがんばりたいと考えています。専門的な知識を身につけて、将来に役立てたいと思います。

1年間の集大成号



「夢」に 向かって!!



Okinawa Time!

～修学旅行～
全ての時間を78人で…



Beach*

「修学旅行を終えて」

修学旅行委員長 望月 陽祐



修学旅行の事前学習では、沖縄の観光地や文化などを、調べるのは勿論ですが、それだけでなく、戦争の地となった沖縄の暗い歴史も学びました。その事前学習もあって、沖縄での旅をとても有意義なものにできたと思います。沖縄での時間は楽しいことも多く、特に民泊では民家の方もとても温かく接していただき、沖縄という環境をとても近くに感じることができました。一方で平和学習の際は沖縄であった戦争の事実を五感で感じ取ることができました。いろいろと情報が多かったですが、とても楽しい修学旅行になりました。

「沖縄の生活や平和に触れた4日間」

修学旅行副委員長 山本 菜央



私たちは12月10日～12月13日の4日間修学旅行で沖縄へ行ってきました。修学旅行へ行く前、事前学習をし、夏休みから着実に準備を進めてきました。7月に2年生全員で「白旗の少女」を見ました。この作品を見るまでは「戦争」のことは社会科の授業でしか知らなかったのですが、沖縄のことも戦争のことも同時に知ることができました。「琉球王国の繁栄と存亡」の講座では経済・政治・文化などの視点から学ぶことができました。「現代の沖縄」の講座では疑問を持つことの大切さを改めて実感しました。一番印象に残っているのは民泊です。民泊では、おじいとおばあが本当の娘のようにかわいがってくれました。おじいとおばあへの愛情を知ると同時に沖縄の生活についても学ぶことができました。最初は不安でしたが、終わってみれば帰りたくない気持ちでいっぱいになりました。そして忘れていけないのが平和学習です。私たちは修学旅行に行く前、みんなで千羽鶴を折りました。その千羽鶴は平和祈念公園に献鶴しました。そして資料館で、みんなが真剣に沖縄戦について、生活や風習について考えることができ、有意義な4日間でした。

演劇部

関東大会 出場!!

演劇部が11月24日に行われた山梨県芸術文化祭の演劇部門で、芸術文化祭賞と優秀賞一席を獲得しました。その結果、1月19・20日横浜市で行われた関東高校演劇研究大会出場を果たしました。

「成長できた関東大会」 演劇部部长 望月 晴貴



僕たち演劇部は「客席との共有! 冒険する!! お客さんの心を動かす!!!」を目標に、日々練習に励んできました。関東大会に向けて取り組みをしていく中で、様々な課題が見つかりました。一番大きな課題は、自分たちで考え、自主的に行動することでした。また、今回の大会を通じて一番達成できたと感じたことは「冒険する」ということです。今までは台本通りに演じてきましたが、今回は自分たちで考えて、色々なパターンでセリフや動きを試し、より良い作品になるように努力することができました。そうすることで客席との共有やお客さんの心を動かすことができるという事を肌で感じる事ができ、とても良い経験になりました。これからももっとレベルアップできるように頑張っていきたいです。



中高連携キャリアセミナー 開催される

12月20日、今年度から取り組みをはじめた「中高連携キャリアセミナー」が開催されました。連携型中高一貫教育の一環で行った本事業は、本校1年次生が「産業社会と人間」の授業での成果を、身延中学校・南部中学校で発表するというものです。高校生にとっては、自分で学んできたことを中学生に伝えることで、自分たちの取り組みについてより深く考えたり、プレゼンテーション能力を向上させたりする機会となります。中学生にとっては、高校生が行っているキャリア教育の一端を知ること、中学生のうちにやるべきことや考えることを知る機会となりました。



生徒の感想

他者の個性を理解し尊重することができた。また自分の将来についてより深く考えることができ、再検討することができました。また、発表するにつれ、自分の意見だけではなく相手のことも考えて行動することができました。あまり話さない人も意見を話し合うことでコミュニケーション力が上がったと思いました。

以前までは全然リーダーシップをとる事が出来ませんでした。今回の取り組みを通してリーダーシップをとることが出来ました。また、私自身将来があまり決まっていなかったが、計画性や将来に向けての計画、見通しを持つことの大切さを学び、それを身につけることができた。



今回は自分は英語でインタビュー内容を発表しました。最初はかなり嫌でしたがやってみると楽しくはありました。英語で発表するための計画、思考、改良などを先生と一緒にすることで、少しでも新しい知識を仕入れて楽しく考えることができました。当日は質問をいくつかされましたが、しっかりと自分なりに答えを伝えることができました。

今回のキャリアセミナーでの発表を通して、今後の自分の進路や卒業後のことなども改めて考えることができたし、相手の様子を見ながら自分の意見を言うこともできた。また、ペアの人と役割を分担して、コミュニケーションを取りながら協力してできたのでよかった。そして、今回は英語での発表だったので、英文を考えたり練習をしていく中で、英語力も少しは身についたと思うのでよかった。

異性や他者と話し合うことで、コミュニケーション力がアップしたと思う。また始めの挨拶とまとめをすることで、少し責任感が強くなったと思う。他にも相手に理解できるように説明を考えてすることで、その場に対応する力が身についたと思う。今日の中高連携キャリアセミナーを通して中学生から多くのことを学べたので、いい経験になった。

3年次生の進路決定状況

身延高校 キャリア教育部

3年次生(99名)の進路決定状況です(2月15日現在)。

【四年制大学】27名 うち国公立大学4名
(山梨大学・都留文科大学・静岡大学・長野大学)

【短期大学】4名 【専門学校】40名

【民間就職】13名



夢に向かって
羽ばたけ、身高生!